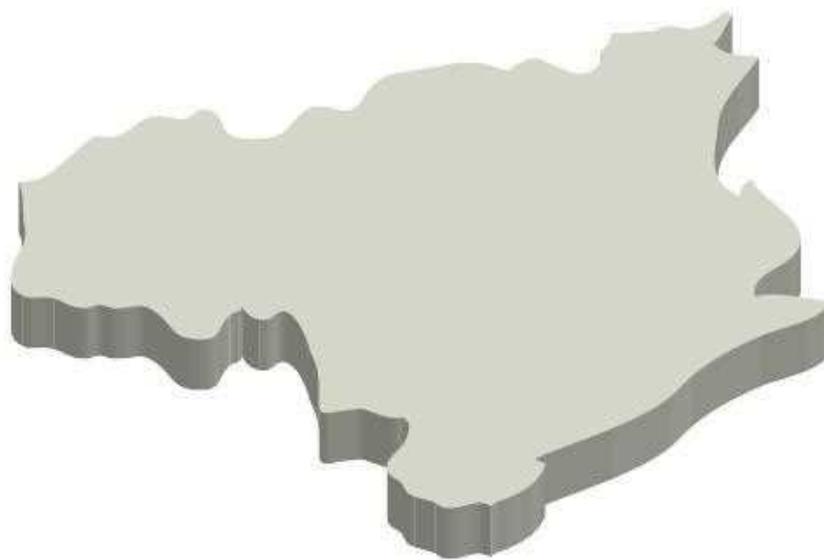


社会資本整備審議会 道路分科会 第41回国土幹線道路部会

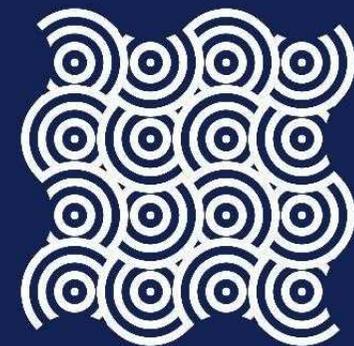


令和2年8月21日

徳島県知事 飯泉 嘉門



AI/TOKUSHIMA



目 次

I 徳島県における「新型コロナウイルス感染症」の現状

II 「新型コロナウイルス感染症」の高速道路等への影響

III 「新型コロナウイルス感染症」に対応した高速道路施策

I 徳島県における「新型コロナウイルス感染症」の現状

(1) WITHコロナ時代に命と暮らしを守る

◆徳島県内の発生状況

とくしまアラート
感染拡大注意(漸増)

県内累計感染者数 (国内累計感染者数)		
96名 (58,845名)		
現在感染者数	死亡者数	退院者数
55名	1名	40名

※国内累計感染者数 令和2年8月19日時点 (JX通信社)

◆暮らしと命を守る

▶拡大防止策・医療提供体制の強化

○「地域外来・検査センター」設置

- ▶県医師会等と連携、「ドライブスルー方式」での検体採取
検体採取可能件数増、採取時間の短縮



採取検体を検査

○軽症者等の療養体制確保

- ▶民間宿泊施設を軽症者・無症状者の療養施設に使用
感染者発生までは、医療従事者の療養所、
里帰り出産・県外帰省者の待避宿泊先として活用



軽症者等宿泊療養施設

○医療機関・福祉施設等の感染拡大防止

- ▶院内感染防止対策に必要な設備整備に補助

○医療福祉サービス従事者への慰労金支給

- ▶医療機関等に勤務し、患者と接する医療従事者、職員に

▶県民生活の支援

○ひとり親家庭への子育て支援

- ▶コロナの影響を受け、収入が減少した方を対象に
1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円
- ▶ひとり親家庭の相談・支援体制強化
SNSの活用、家庭生活支援員を派遣

◆WITHコロナ時代 感染症に強い徳島へ

▶とくしまスマートライフ宣言

1. **3密**を徹底的に回避しましょう！
2. 日常的に**感染防止**を心がけましょう！
3. 施設設備の**安全を確保**しましょう！
4. **段階的に社会経済活動**を引き上げましょう！
5. **新しい働き方**に向け努力しましょう！



▶とくしまアラート

感染拡大に備え、アラート発動**基準を明確化**

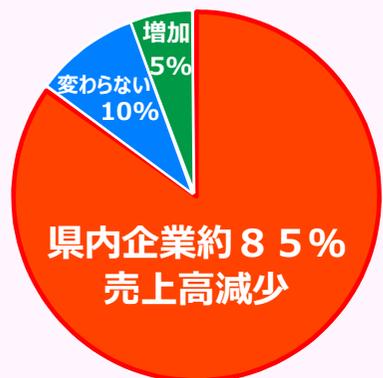
ホームページ等通じ、必要な対応を**分かりやすく情報発信**

発動基準 (直近1週間)	感染観察		感染拡大注意		特定警戒	
	注意	強化	漸増	急増		
感染の状況 (新規感染者数)	-	5人以上	10人以上	30人以上	100人以上	170人以上
医療提供体制 (病床のひっ迫)	-	-	-	最大確保病床 占有率 1/5%以上	最大確保病床 占有率 1/2%以上	

※とくしまアラート発動基準概略

(2) WITHコロナ時代に業と雇用を守る

◆徳島県内への影響



徳島県内企業へのアンケート結果
(令和2年6月(対前年同月比)売上高)

県内企業の4割が
5割以上の売上高減少！

県内経済に深刻な影響

全業種売上高大幅減少

新型コロナウイルス感染症への備え、
事業継続の支えが必要に！

◆「とくしまスマートライフ」の導入支援

▶WITHコロナ時代への対応・事業継続を支援

- WITHコロナ「新生活様式」導入応援助成金
 - 感染症予防拡大防止ガイドラインに沿った3密接触回避、新生活導入経費を助成(助成率10/10) → 3つのコースを用意
 - 働き方の新しいスタイルに対応
テレワーク用システム、キャッシュレス導入等
- 事業所等の安全宣言等
 - 感染症防止対策に積極的に協力いただいた**施設の安全宣言**を行い周知！
 - 「感染拡大予防ガイドライン実践店ステッカー」配布

◆業と雇用を守る

▶本県独自の中小企業・雇用の維持を支援

- 事業者の**資金繰り**を支援
 - 国に先駆け、全国初「**融資連動型・給付金**」制度創設
 - 売上げ減少の中小・小規模事業者への「**保証料ゼロ・実質無利子(当初3年)**」の融資
- 生活衛生関係営業者の**事業継続**を支援
 - 人々の生活を支える飲食、理美容等を対象
日本政策金融公庫融資 + 県単独給付金
- 中小企業等における「**雇用**」の維持を支援
 - 国「雇用調整助成金」支給決定を受けた中小企業に対する**県独自の上乗せ助成**
→後に国助成率10/10を誘因
- 徳島県内企業の支援制度利用状況
融資 8, 823件 (全事業所の約2割)
給付・助成金 3, 229件
※R2.8.19現在

事業者・県民を支援！

(3) 地方への人の流れを加速

◆ 徳島県内の観光



大規模イベント中止・自粛!

臨時休館・営業休止!

◆ 新型コロナウイルス感染症による社会変化

- 「新しい働き方」の社会実装が促進
 - ・テレワークが当たり前!
- 大都市部への過度な人口集中によるリスクが顕在化
 - ・緊急事態制限に伴う休業要請
 - ・従業員の雇い止め、内定切り、学生はアルバイト先の喪失

◆ 県内の観光需要を喚起 **阿波おどりに代わる観光需要を創出!**

▶ まずは県民が地元・徳島でゆっくり観光

- 県民限定! とくしま観光キャンペーン
 - 「とくしま応援割」 県民みんなで宿泊業を応援
 - ・県内宿泊施設の宿泊料を割引
 - ・6月スタートで1万泊(期限7月末まで)を用意
 - ↓ 20日足らずで9割超応募
 - ・第2、3弾と追加、計4万泊(期限8月末)まで拡大
 - 予約件数 3万4992件 ※R2.8.18現在
 - 「とくしま再発見ツアー」造成支援
 - ・旅行商品の宿泊料・交通費の1/2を助成

▶ 「Go To キャンペーン」タイアップ

- 「徳島で得するケン(券)」 R2.8.1~
 - ・県内宿泊者を対象にクーポンをプレゼント

◆ 「WITHコロナ時代」の先導を

▶ 「新次元の分散型国土」を創出

- 中央省庁の地方移転 **R2.7.30**
 - 「消費者庁・新未来創造戦略本部」開設!
 - ・国の本庁機能が霞ヶ関を離れ徳島に!
 - ・「国際消費者フォーラム」開催へ!
- 企業の地方分散、新しい働き方の実装
 - サテライトオフィス開設数「全国一」! **15市町村68社**
 - ・全国屈指の「光ブロードバンド環境」が進出を加速!
 - ・オフィス開設にオーダーメイド型の支援!
- 地方大学の魅力化、定員増
 - 県外大学生の転入学等を支援!
 - ・県外大学生に「転入学の費用」、「引越代」を支援
 - ・若者の定着を推進



「守り、耐え抜く」局面から「コロナとの共生」、そして「経済回復」、「分散型国土構築」をリード!

II 「新型コロナウイルス感染症」の高速道路等への影響

(1) 「新型コロナウイルス感染症」による物流への影響

◆「新型コロナウイルス感染症」発生前 ～新たな国土軸の形成（モーダルシフトの活用）～



◆九州と京阪神を最短で結ぶ四国ルート！

- ・休憩時間の確保
⇒フェリー 2.5時間（東九州・四国間）
- ・運転距離の短縮
⇒約200km（東九州・京阪神間）
- ・運転時間の短縮
⇒約1時間（本州ルート・四国ルート比較）

◆「新型コロナウイルス感染症」発生後 ～主要な公共交通機関等の状況（R2.5実績（前年同月比較））～

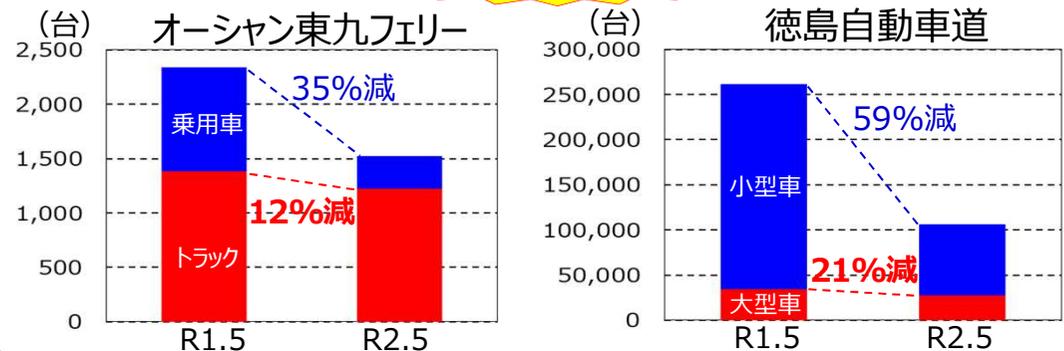
人流

- ・航空機 ⇒ 90%減
- ・高速バス ⇒ 100%減
- ・路線バス ⇒ 70%減
- ・南海フェリー ⇒ 78%減

※高速バスは全便運休

物流

物流は約1～2割の減に踏みとどまる！



生活に欠かせない物流ネットワークの強化が必要！

(2) 「災害列島」から「安全安心列島」へ

◆「災害列島」と化する日本

令和元年東日本台風

【人的被害】死者・行方不明者 107人
 【住家被害】101,673棟
 【堤防決壊】71河川 142箇所
 (消防庁・国土交通省：R2.4.10現在)



長野県・千曲川 出典：国土地理院ウェブサイト

令和2年7月豪雨

【人的被害】死者・行方不明者 86人
 【住家被害】17,795棟
 【堤防決壊】4河川 5箇所
 (消防庁・国土交通省：R2.8.17現在)



熊本県・球磨川 出典：国土地理院ウェブサイト

切迫する南海トラフ巨大地震

【徳島県被害想定(最大)】
 <南海トラフ巨大地震>
 死者 31,300人・全壊 116,400棟
 <中央構造線活断層地震>
 死者 3,440人・全壊 63,700棟



◆複合災害「災害+新型コロナ」への備え

新型コロナにより避難対応が変化
分散避難には「命の道」が不可欠！

◆「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(H30~)

- 河道掘削・樹木伐採
 3.3億円 (H27~H29) → **50億円** (H30~R2) **予算大幅増**



海部川



浚渫・樹木伐採により
流下能力が飛躍的に向上!

- 地震・津波対策
 海岸堤防の高上げ・粘り強い化

- 建設業への効果
 ・「3か年緊急対策」等により、
 「新型コロナウイルス感染症」の影響下においても
 他の産業が壊滅的打撃を受ける中、
建設業は持ちこたえる!

地域を支援!

例)・昼食は地元店で
 ・市町、学校に物資等を

現場の声

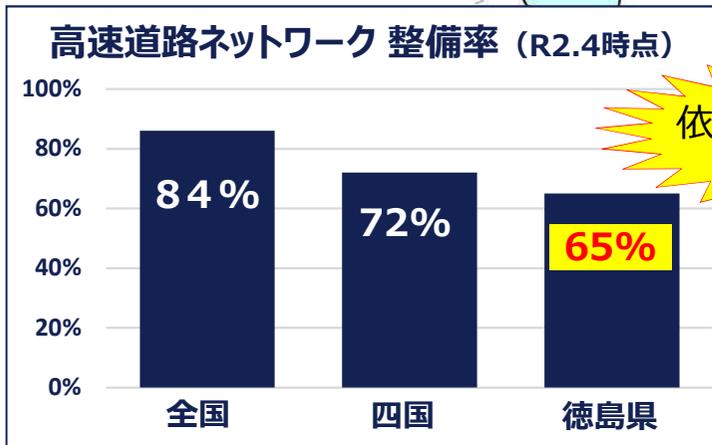
- 「3か年緊急対策」のような見通しがあれば、
 更なる経営安定化が図られる!
- 上がった利益で新しい「ICT建機」などに投資!

◆「緊急浚渫推進事業債」(R2~) **本県提言により創設!**

中長期視点に立った複合災害に屈しない「国土づくり」が必要!

Ⅲ 「新型コロナウイルス感染症」に対応した高速道路施策

(1) 徳島県の高速道路ネットワークの現状



高速道路ネットワークの整備が必要!

(2) ミッシングリンクの解消

◆「陸・海・空」結節点の強化

【徳島東 I C】

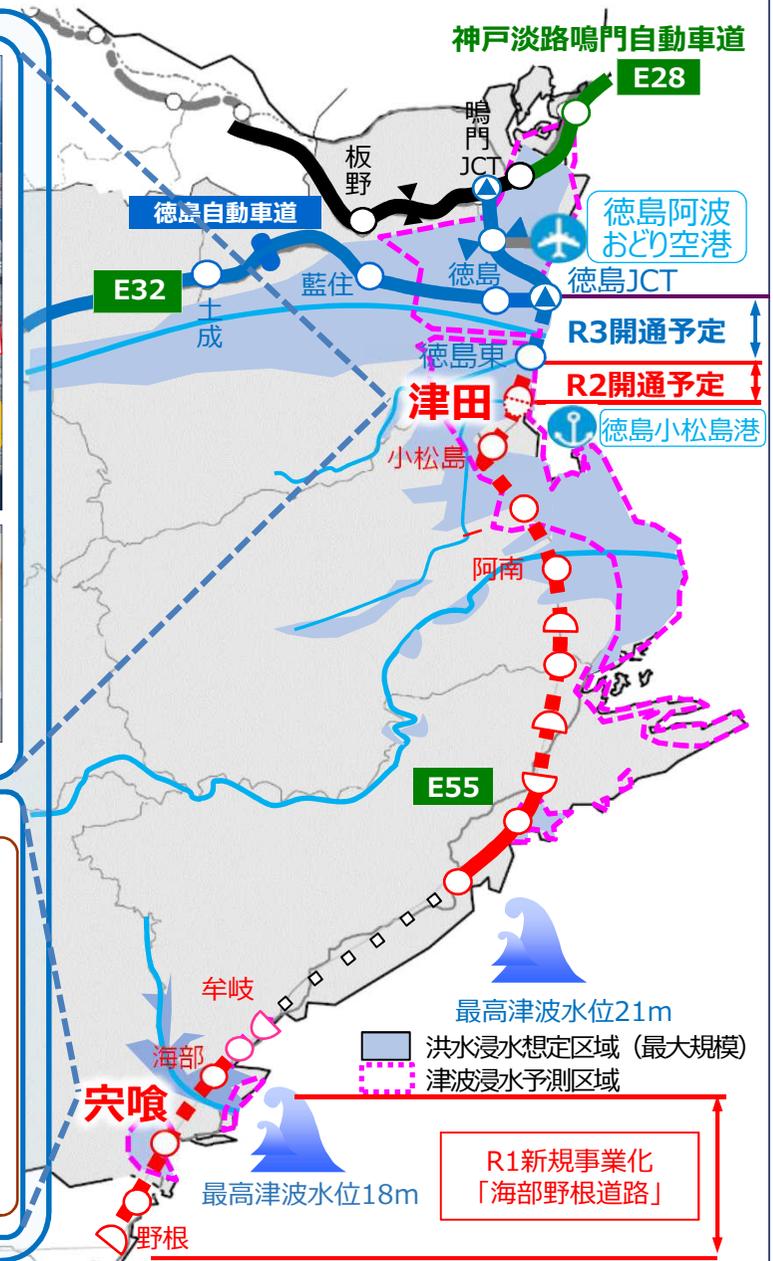
- ・複合一貫輸送ターミナルと
高速道路が直結

【津田 I C】

- ・「津田木材団地」のリノベーション
- ・水面貯木場を埋め立て
新たな「複合型先進拠点」を整備

- ・全国に先駆け
「木造4階建て」県営住宅を整備

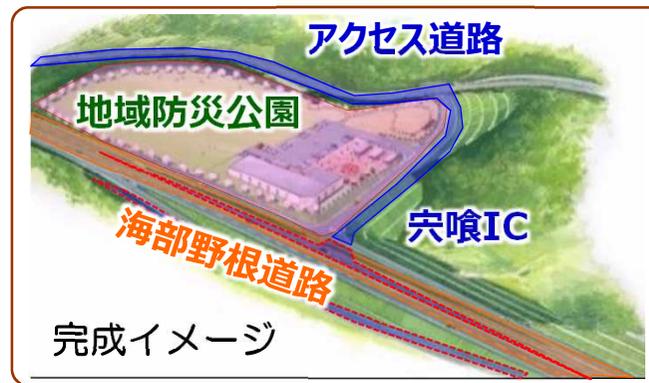
津田 I C と一体となったまちづくり



◆「命の道」の整備推進

- 県：穴喰 I C へのアクセス道路を整備中
- 海陽町：穴喰 I C に隣接する地域防災公園を整備中
「牟岐・海部間」も含め
ルート上の地籍調査を加速

国・県・町の緊密な連携により整備加速



高速道路と一体となった「まちづくり」！ ストック効果の最大化！

(3) 暫定2車線区間の4車線化

◆高速道路における安全・安心基本計画

※優先整備区間は概ね10年から15年で4車線化完成



◆新たな財源確保に関する提案

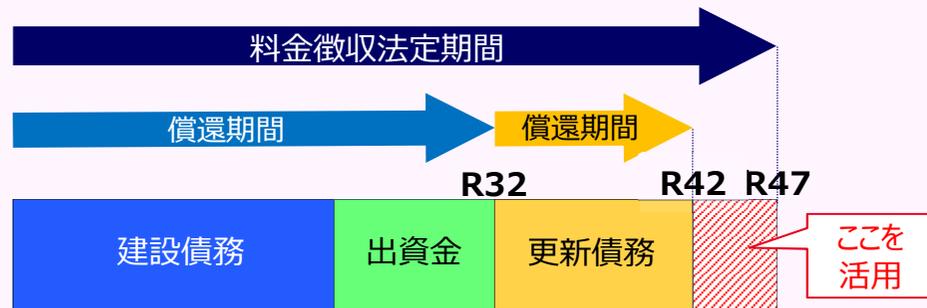
- ・料金収入で4車線化整備
- ・財政投融资の活用

※全国の対面通行区間 (有料区間) 約1,600kmの4車線化整備費用約8兆円

「新型コロナウイルス感染症」
料金収入減!

財政投融资の積極的な活用
+
新たな財源確保が必要!

提案① 料金徴収法定期間 (R47) までの料金収入を活用



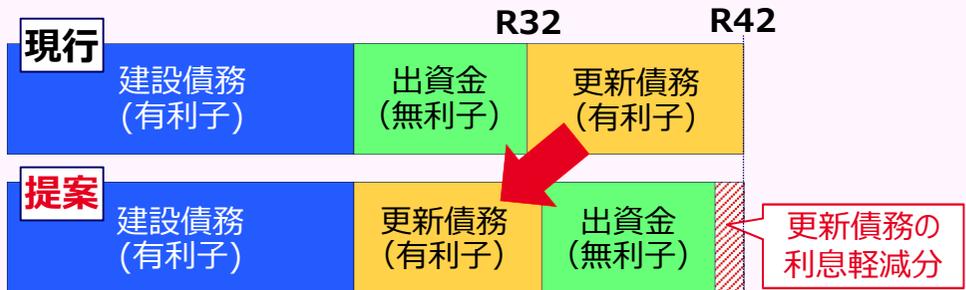
債務償還後の料金収入を
維持修繕・更新や**機能強化に投資!**

4車線化
に活用

将来にわたり高いサービスレベルを維持し、必要に応じて機能強化を図りつつ、適切な維持修繕・更新を実施するため、償還期間満了後も料金を徴収し続けること
※国土幹線道路部会「中間答申」(H27.7)より抜粋

提案② 有利子債務の先行償還により利息軽減分を活用

現行の償還スキーム
建設債務 (有利子)・出資金はR32までに償還
その後、更新債務 (有利子) を償還開始



有利子債務を先行償還
利息軽減分を新たに投資!

4車線化
に活用

新たな財源を確保し、「安全・安心基本計画」の着実な推進!

(4) 安全・安心で使いやすい高速道路

◆高速道路の安全性・利便性向上

▶新たな日常「ニューノーマル」への対応

- ・高速道路会社の業務継続、接触による感染拡大防止

◆ETC専用化の推進！

- ・新たな感染症に備えた料金所の完全無人化
- ・利用者の混乱が起きないように段階的に導入

▶交通需要の掘り起こし

- ・「道の駅 みまの里」一時退出の社会実験中！ R1.12～



- ・高速料金が高くないから、ちょっと寄ってみた
- ・地域の特産物を見つけることが出来て楽しい

地域資源である「道の駅」の更なる活用！

◆「一時退出」対象ICの拡充を！

- ・高速道路の利便性を向上し、交通需要の拡大！
- ・観光振興、地域活性化の起爆剤に！

◆デジタル社会の基盤となる マイナンバーカード

▶マイナンバーカードの活用

- ・特別定額給付金 R2.5～
- ・マイナポイント R2.9～
- ・徳島県版プレミアムポイント事業 R2.9～
本県独自のポイント還元！

7月には99万枚を交付
申請者急増中！



▶さらに活用が広がる

- ・健康保険証として利用開始 R3.3～
- ・運転免許証、安全衛生関係各種免許等に拡大！
- ・口座情報と結びつき、公金振込口座として活用



マイナンバーカードの利便性が向上！

◆マイナンバーカードとETCカードの連携！

- ・マイキープラットフォームを活用
- ・マイナポイントとマイレージポイントの相互交換等による新サービス構築

航空会社のマイレージは
自治体ポイントで
活用可！

将来のワンカード化に向け！

(5) 具体的な提言

① 新型コロナウイルス感染症、激甚化・頻発化する自然災害に屈しない国土づくり

- ・生活に欠かすことができない物流や災害時の「命の道」となる
高速道路の**ミッシングリンクの早期解消**
- ・例えば「5か年緊急対策」など、**ポスト「3か年緊急対策」を継続し**、
高速道路ネットワークの整備などへ**対象事業を拡大**

新型コロナによる
避難対応の変化

② 「高速道路における安全・安心基本計画」の着実な推進

- ・暫定2車線区間の**計画的な4車線化**
- ・現下の低金利状況を活かした**「財政投融资」の積極的な活用**や
新たな償還スキーム導入による**財源確保**

4車線化による
安全・安心の確保

③ より使いやすい高速道路へ

- ・感染症対策に備えた料金所の**E T C専用化**
- ・交通需要を掘り起こす**一時退出の拡大**
- ・利便性の向上につながる**E T Cカードとマイナンバーカードの連携**

WITHコロナ時代の
新たな取組み